

鳴り響くもの

～詠みと踊りで綴るみらいへの賛歌～

2018年3月24日土曜日

14:30 開場

15:00 開演

入場料 2500円

鴨江アートセンター301号室

432-8024 浜松市中区鴨江町1番地

これからを言祝ぐ、語り、踊り、香り、調べのコラボレーションをあなたにおとどけいたします。

歌詠：竹内香代/mahina makana/縷々

踊り：杉浦麻友美/YOCCHI

演奏：江川琴乃/根岸亜希子

調香：杉浦菜美

協力：大野建具/okimaki

主催：はままつ・つながり・アート

後援：(公財)浜松市文化振興財団 静岡新聞社 静岡放送 中日新聞東海本社 FM Haro! K-mix

お問い合わせ先：杉浦麻友美 電話：090-7039-1756 メール：MI|ATPJSK@I.SOFTBANK.JP

<出演者>



杉浦麻友美(踊り)

表現する身体デザイン工房主宰はままつ・つながり・アート代表3歳より踊りに出会う。「人はみな表現者」をモットーに観客、演者双方の創造性を広げるため活動中。また、身体表現の指導者やアーティストへ身体の使い方を指導している。

ブログ「健康で自分らしく生きるためのカラダの使い方」HP「指導者のための声かけ効果劇的UP講座」
浜松北高、早稲田大卒。



YOCCHI(踊り)

幼少の頃のミュージカル経験からダンスに興味をもち、高校や大学で上京しダンス活動を行う。また、海外で世界のサイファーやコンテストで踊ったイベントに参加したりと、国内国外共にダンスのサイファーに触れてきた。浜松では、ダンススタジオ、スポーツジム、学校等で、House講師、Dance講師、インストラクターとして活動中。

UDO world championship 2017 House 部門優勝、UDO Japan 2017 House 部門優勝、2015Dance@live kanto best 8、2015Dance@live hokuriku best8、2013Dance@live hokuriku best8、Maw House Music battle best4、The game best 16、Dance@live kanto8、stteppin jazz battle 3位、SCS steppers battle best4、House 部門 EXIEL ファンキーサミー賞受賞、Bopcity 優勝等。immigrant bossa band ボーカル Shoco や Sony アーティスト 菊岡ひろみの Live dancer、フルト奏者 根岸垂希子、トラブッカやジャンベ、ボサノバ、ブラジリアン、Jazz などのバンドとの生音共演、H*Artの公演等。



江川琴乃(打楽器)

静岡県出身。静岡県立浜松江之島高等学校 芸術科音楽専攻、洗足学園音楽大学 打楽器コース卒業。

県内外で吹奏楽、オーケストラ等への出演をはじめ、商業施設や教育機関等での演奏活動、後進の指導にあっている。

打楽器、マリンバを 中村友紀、山西由里、森茂、神谷百子の各師に師事。



根岸垂希子(フルート)

群馬県出身。幼少の頃からクラシック音楽を学び、4歳よりピアノ、12歳よりフルートを始める。慶應義塾大学在学中にジャズに転向し、卒業後首都圏でジャズフルート奏者として活動。きらびやかな音色でフルートの美しさを最大限に活かすつも、力強くグルーヴィーな演奏に定評がある。2015年より2年間浜松市で活動し、市内ライブハウスでの演奏や「ハママツ・ジャズ・ウィーク」等イベントにも多数出演。名門ジャズビッグバンド「Blue Notes」メンバーとしても活躍し、ソリストとして高い評価を得る。ダンサーとのコラボレーション経験も豊富で、2016年「音とダンスのライブパフォーマンス Winter Gift」にて杉浦麻友美、Yocchi と共演。即興演奏の躍動感あるフルートとダンスの融合で観客を魅了した。現在は東京を中心に首都圏で演奏活動中。



縷々 from LULUfactory(朗読)

詩人、小説家、エッセイスト。インスタグラム(@author_lulu)で試験的に小説を発表するかたわら、「飲み物と女シリーズ」として電子書籍5冊を発売中。アメブロにて不定期に連載している"迷うダンシャリアンシリーズ"のスピンオフ電子書籍「捨てる前に読みなさい!!」は、小説とリンクする初のお片づけ指南フィクション本として好評発売中。他電子書籍販売サイト「Puboo(パプー)」ではエッセイも発表。

現代詩賞 第9回・10回入選。「もの書き人」として活躍の場を広げつつある。



mahina makana(朗読)

ヨガインストラクター。マヒナマカナ主宰。石川県能登生まれ。幼少期から本の世界に没り、息み溢れる自然のなかで過ごす。大学時代は名古屋で舞台やイベントでダンスを学ぶ。その後もヨガと旅とダンスを続けながらデザインライブラリー司書時代に多くの本に巡りあう。2013年浜松でayanoha YOGAに出会う。ヨガインストラクター&セラピストとして学びを重ね、スタジオ内でアドヴァンスティチャーとして活動する。ヨガのなかでも独創的な世界観を表現できるヨガニードラの手法に惹かれる。ヨガニードラのイベントやクラスを重ねるにつれ、そこで湧き出る言葉のインスピレーションを基にした"ヨガニードラの詩"を書くようになる。2017年、mahina makana マヒナマカナを立ち上げ、音・歌・ハーブなど地球の織りもののように空間を演出した"贈りものヨガ"を展開する他、主演ライブの企画・演出も行う。2018年春に発売予定のヨガウェアブランド「MAHINA MAKANA」のデザイナーとしても才能が目される。



竹内香代(朗読)

「天然マテリアルと詩の小売り Tu viendras」店主。

鉱物/植物/感情と思考の店として、主に「詩」と「アート」を背骨にイベント出展で活動中。

2017年秋、鴨江アートセンターにて詩の朗読会「紙片 issue:0」を主催開催した。

植物療法士としてハーブを使用したオリジナル商品の企画・製造・販売を行う。



杉浦菜美(香り)

Victoire (ヴィクトワール) 主宰/AROMAMUSICA (アロمامジカ) 代表

オーグメイト香水の調香、企業へのオリジナルの香りの提案、アロマ空間演出、ブレンド講座の実施など。近年はアートシーンにおける香りの可能性を追求。2017年3月シャノンギター弾き語りライブ(豊橋・浜松)にて、「月」をテーマに創香・演出。10月ハママツ・ジャズ・ウィーク期間中、ピアニストとのコラボレーションライブに出演。11月 Any にて主催のイベント「Fiesta de AROMAMUSICA~楽器の森で香りを聴く~」では、森の香りのクラシックコンサートやワークショップ等を企画。空間全体で「香り」「音楽」「自然」の融合を実現することで、新たな価値観の創造を試みた。地元遠州の自然の恵みがもたらす「香り」にも注目している。